

東播磨道整備による、物流や通勤圏の変化

東播磨道整備を見込み民間投資が活発化！



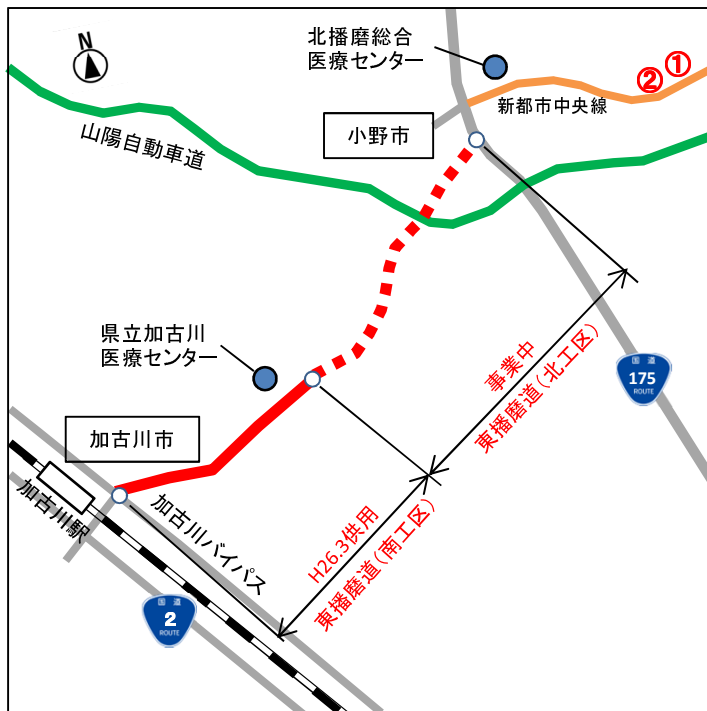
①日本ハムファクトリー

小野工場にハム・ソーセージの生産を集約（兵庫工場の移転）。
製品輸送性の向上だけでなく、東播磨道開通による移動時間の短縮で、兵庫工場の現従業員の通勤圏となり、効率化のための工場集約が実現。

軽食・惣菜・デザート等の製造、配送拠点を新規設立。
山陽自動車道による東西流通に加え、東播磨道整備により、飛躍的な南北の流通効率のアップが期待できる。



②プレミアムキッチン



県立加古川医療センター
(三次救急)

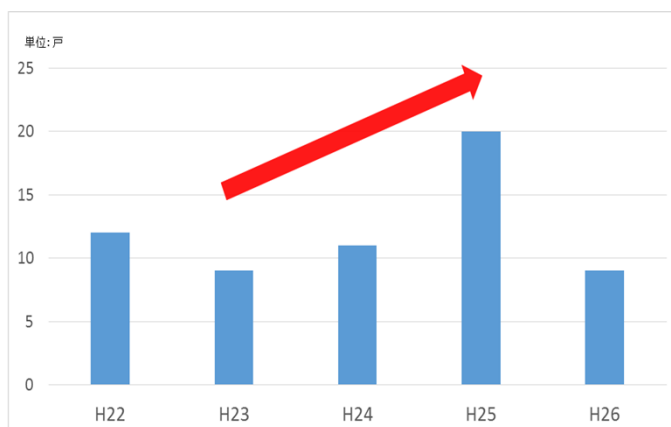
広域医療連携により命をつなぐ！



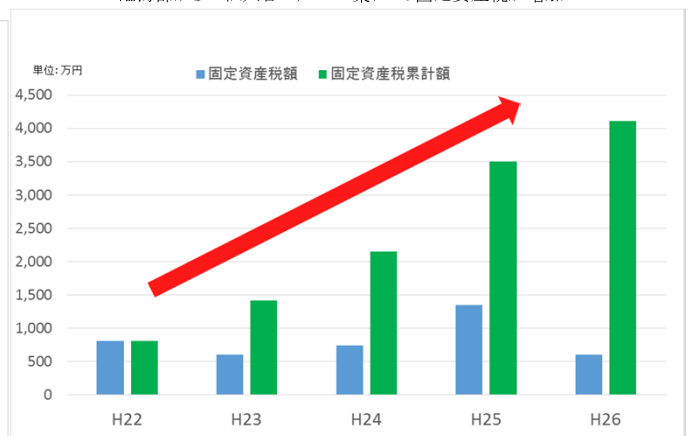
北播磨総合医療センター
(二次救急)

通勤圏の拡大が、住宅建築候補地を広域化！

臨海部（高砂、加古川、明石、姫路方面）から小野市への転入者が増加



臨海部からの転入者の戸建建築により固定資産税が増加



平成25年10月に 北播磨総合医療センターが開院!!



最新の医療機器を備えた充実の体制



放射線治療装置
(リニアック)



内視鏡手術支援ロボット
(ダヴィンチ)

○加古川の堤防整備による
周辺道路の冠水の解消



平成27年3月築堤完成

○東播磨道の整備による
広域医療連携の実現



平成26年3月部分開通

迂回懸念が解消